



2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日
東

上場会社名 日本農業株式会社 上場取引所
 コード番号 4997 URL <https://www.nichino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友井 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務・法務部長 (氏名) 永井 統尋 (TEL) 03-6361-1400
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	48,223	△0.1	3,534	△11.1	3,460	△11.4	2,526	5.0
2018年9月期第3四半期	48,280	3.8	3,974	14.3	3,905	8.3	2,407	10.7

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 1,314百万円(△18.8%) 2018年9月期第3四半期 1,618百万円(△59.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	32.07	—
2018年9月期第3四半期	36.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	99,836	57,697	55.8
2018年9月期	98,003	57,576	56.8

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 55,685百万円 2018年9月期 55,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2019年9月期	—	7.50	—		
2019年9月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	11.1	3,800	△8.9	3,400	△6.9	2,500	△0.3	31.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期3Q	81,967,082株	2018年9月期	81,967,082株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	3,191,818株	2018年9月期	3,190,978株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期3Q	78,775,630株	2018年9月期3Q	66,836,439株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、堅調な企業収益を背景に雇用情勢が改善し、個人消費が持ち直すなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、景気の先行きは、長期化する米中間の貿易摩擦の世界経済に与える影響や中国経済の減速など依然不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは今期を初年度とする新中期経営計画「Ensuring Growing Global 2021 (EGG2021) グローインググローバルを確実に！」に取り組み、収益性の向上とグループ力強化を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は482億23百万円（前年同期比57百万円減、0.1%減）となりました。利益面では、営業利益は35億34百万円（前年同期比4億40百万円減、11.1%減）、経常利益は34億60百万円（前年同期比4億45百万円減、11.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益として親会社株式売却益を計上したこともあり25億26百万円（前年同期比1億19百万円増、5.0%増）となりました。

なお、当社グループの売上高および利益は農薬の需要期となる第2四半期連結会計期間に集中する季節性があります。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、園芸用殺虫剤「フェニックス」や殺ダニ剤「ダニコング」などの主力自社開発品目の普及拡販に努めました。しかしながら、一部品目の取り扱い中止や昨年相次いだ自然災害が招いた防除機会の減少による流通在庫の影響などから国内販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

海外農薬販売では、世界最大のブラジル市場の需要回復を受け、Sipcam Nichino Brasil S.A.の売上高が伸長しました。一方、北米では天候不順の影響もあり、Nichino America, Inc.の売上高は前年同期を下回りました。さらに、雨季後半の降雨量が少なかったインドは作付けの遅れなどから農薬需要が低迷し、Nichino India Pvt.Ltd.の売上高が伸び悩みました。これらの結果、海外販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

なお、ノウハウ技術料収入は、技術導出先による当社開発品目の販売が好調に推移したことなどから前年同期を上回りました。

以上の結果、農薬事業の売上高は439億26百万円（前年同期比3億23百万円減、0.7%減）となり、営業利益は28億2百万円（前年同期比6億84百万円減、19.6%減）となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤分野で株式会社アグリマートの売上高が伸長しました。また、医薬品事業では、外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の爪白癬分野での販売が好調に推移しました。

以上の結果、農薬以外の化学品事業の売上高は28億85百万円（前年同期比1億8百万円増、3.9%増）となり、営業利益は9億83百万円（前年同期比1億16百万円増、13.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18億32百万円増加し、998億36百万円となりました。これは、売上債権の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ17億11百万円増加し、421億38百万円となりました。これは、仕入債務の減少を上回る短期借入金の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億20百万円増加し、576億97百万円となりました。これは、為

替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額の減少を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2018年11月13日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,889	12,293
受取手形及び売掛金	21,986	29,957
電子記録債権	1,817	2,927
商品及び製品	11,518	14,345
仕掛品	849	943
原材料及び貯蔵品	5,859	4,517
その他	2,940	2,080
貸倒引当金	△455	△152
流動資産合計	63,405	66,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,294	5,096
機械装置及び運搬具（純額）	3,688	3,466
土地	6,126	6,121
その他（純額）	948	650
有形固定資産合計	16,056	15,335
無形固定資産		
のれん	5,625	5,303
その他	1,218	1,177
無形固定資産合計	6,844	6,480
投資その他の資産		
投資有価証券	5,618	5,291
親会社株式	1,539	619
その他	4,554	5,497
貸倒引当金	△15	△300
投資その他の資産合計	11,697	11,108
固定資産合計	34,597	32,924
資産合計	98,003	99,836

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,610	9,486
電子記録債務	776	1,131
短期借入金	6,261	9,874
未払法人税等	715	873
賞与引当金	734	440
環境対策引当金	778	315
その他の引当金	68	55
営業外電子記録債務	89	34
その他	6,783	6,405
流動負債合計	26,818	28,616
固定負債		
社債	1,710	2,523
長期借入金	8,639	8,188
退職給付に係る負債	756	653
その他の引当金	54	46
その他	2,447	2,109
固定負債合計	13,608	13,522
負債合計	40,427	42,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,939	14,939
資本剰余金	15,057	15,057
利益剰余金	28,571	29,916
自己株式	△1,727	△1,728
株主資本合計	56,840	58,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,981	1,022
為替換算調整勘定	△3,477	△3,827
退職給付に係る調整累計額	317	305
その他の包括利益累計額合計	△1,178	△2,499
非支配株主持分	1,913	2,011
純資産合計	57,576	57,697
負債純資産合計	98,003	99,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
売上高	48,280	48,223
売上原価	31,636	32,315
売上総利益	16,644	15,907
販売費及び一般管理費	12,669	12,372
営業利益	3,974	3,534
営業外収益		
受取利息	100	101
受取配当金	113	118
不動産賃貸料	59	56
持分法による投資利益	268	323
その他	129	126
営業外収益合計	670	727
営業外費用		
支払利息	375	417
為替差損	189	125
デリバティブ評価損	32	107
その他	142	151
営業外費用合計	740	801
経常利益	3,905	3,460
特別利益		
投資有価証券売却益	133	—
親会社株式売却益	—	515
特別利益合計	133	515
特別損失		
固定資産処分損	92	24
投資有価証券評価損	—	14
製品回収関連費用	57	—
環境対策費	113	135
特別損失合計	263	173
税金等調整前四半期純利益	3,776	3,802
法人税等	1,131	1,137
四半期純利益	2,644	2,665
非支配株主に帰属する四半期純利益	237	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,407	2,526

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,644	2,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△358	△959
為替換算調整勘定	△812	△331
退職給付に係る調整額	△3	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	148	△48
その他の包括利益合計	△1,025	△1,351
四半期包括利益	1,618	1,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,483	1,205
非支配株主に係る四半期包括利益	135	108

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,250	2,777	47,027	1,253	48,280	—	48,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	5	724	730	△730	—
計	44,254	2,777	47,032	1,978	49,011	△730	48,280
セグメント利益	3,487	866	4,354	219	4,574	△599	3,974

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△599百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△599百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	43,926	2,885	46,811	1,411	48,223	—	48,223
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	0	17	748	765	△765	—
計	43,943	2,885	46,829	2,159	48,989	△765	48,223
セグメント利益	2,802	983	3,786	312	4,098	△563	3,534

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△563百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△563百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。